

令和元年度 行田こども園 自己評価集計表

I 教育・保育の計画性

1よくできている 2まあまあできている 3あまりできていない 4まったくできていない

内 容		評 価							
		1		2		3		4	
1. 園の教育理念・教育方針の理解		1		2		3		4	
①	園の教育・保育理念や教育・保育方針を理解している	7	58%	4	33%	1	8%	0	0%
②	園の方針、園長の考え方について園長や副園長・主幹保育教諭と話し合い、保護者に説明できる	4	33%	6	50%	2	17%	0	0%
2. 認定こども園教育・保育要領の理解		1		2		3		4	
①	認定こども園教育・保育要領(保育所保育指針)を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思い浮かべることができる	4	33%	6	50%	2	17%	0	0%
3. 教育課程の編成と評価		1		2		3		4	
①	園の教育保育課程は、認定こども園教育・保育要領(保育所保育指針)を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い編成している	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
②	1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価している	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
③	園の教育保育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
4. 指導（保育）計画の作成		1		2		3		4	
①	指導（保育）計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%
②	行事は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で、指導（保育）計画に組み入れている	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
5. 環境の構成		1		2		3		4	
①	指導（保育）計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	2	17%	10	83%	0	0%	0	0%
②	楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように玩具や用具、素材などの質・数量を配慮して環境構成をしている	8	67%	3	25%	1	8%	0	0%
③	幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている	5	42%	7	58%	0	0%	0	0%
④	幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%
⑤	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	4	33%	8	67%	0	0%	0	0%
6. 保育と計画の評価		1		2		3		4	
①	自分の教育・保育と評価・反省について、次の教育・保育と計画に生かせるように行っている（DCPA）	4	33%	7	58%	1	8%	0	0%
②	お互いに教育・保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの教育・保育につなげている	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%

II 教育・保育の在り方、幼児への対応

1よくできている 2まあまあできている 3あまりできていない 4まったくできていない

内 容		評 価							
		1		2		3		4	
1. 健康と安全への配慮		1		2		3		4	
①	朝の登園時は、特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確認している	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
②	体調が悪そうな時は、静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い、すぐに家庭へ連絡している	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
2. 幼児のみとりと理解		1		2		3		4	
①	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分に満たされるよう配慮している	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
②	一人の幼児をじっくりと見ながら見えないところで活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動を推察することができる	7	58%	2	17%	3	25%	0	0%
③	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%
3. 指導とかかわり		1		2		3		4	
【心の拠り所として】		1		2		3		4	
①	幼児の一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受け入れ認めるようにしている	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
②	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
③	幼児の話をよく聞くようにしている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
④	”一人ひとり”と”みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	4	33%	8	67%	0	0%	0	0%
⑤	子どもの目線に立ち、気持ちやおもいを大切にしながら対応している	7	58%	4	33%	1	8%	0	0%
【遊び・活動の援助者として】		1		2		3		4	
①	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している	8	67%	3	25%	1	8%	0	0%
②	幼児を認めたり、励ましたり、目当てを持たせするような言葉掛けをしている	6	50%	5	42%	1	8%	0	0%
③	子どもの名前は、呼び捨てにせず、「～ちゃん」「～くん」をつけて呼んでいる	3	25%	8	67%	1	8%	0	0%
④	「～しなさい」「ダメ」「静かに」等、制止や禁止の言葉を不用意に用いないようにしている	2	17%	7	58%	3	25%	0	0%
【その他】		1		2		3		4	
①	幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮して関わっている	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
4. 保育者同士の協力・連携		1		2		3		4	
①	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉掛けや対応をしている。また、担任にその情報を共有している	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
②	指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	7	58%	4	33%	1	8%	0	0%
③	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うよう様々な工夫、教育・保育の形態を取り入れている	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%

Ⅲ 保育の在り方、3歳未満児への対応

1よくできている 2まあまあできている 3あまりできていない 4まったくできていない

内 容		評 価							
		1		2		3		4	
1. 健康と安全への配慮		1		2		3		4	
①	朝の登園時は、家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を確かめている	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
②	体調が悪そうな時は、静かに寝かせたり検温をするなど、適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③	保護者からの健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性けいれん、脱臼癖などの既往歴について把握している	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
④	体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせるとともに、バランスの取れた発育が促されるように配慮している	11	92%	0	0%	1	8%	0	0%
⑤	家庭と連携を取りながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
⑥	睡眠が十分とれるような静かな環境を整え、午睡の状態（呼吸・顔色・嘔吐・汗）、およびSIDS（乳児突然死症候群）のチェックを記録している	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
⑦	一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツ交換をしたり、トイレに促している	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
2. 乳幼児のみとりと理解		1		2		3		4	
①	乳幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察して受け止め、信頼関係を築いている	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
②	一人ひとりの乳幼児の発達課題について見通しをもって保育をしている	7	58%	4	33%	1	8%	0	0%
3. 指導と援助		1		2		3		4	
【心の拠り所として】		1		2		3		4	
①	落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語り掛けたりして、乳幼児が人とかかわりの楽しさや心地よさを味わえるようにしている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
②	泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
【遊び・活動の援助者として】		1		2		3		4	
①	乳幼児の心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育をしている	6	50%	4	33%	2	17%	0	0%
②	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを汲み取り、安心感と自己肯定感が持てるような言葉掛けをしている	10	83%	1	8%	1	8%	0	0%
③	「はやく」・「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に用いないようにしている	5	42%	7	58%	0	0%	0	0%
④	子どもの名前は呼び捨てにせず、「～ちゃん」「～くん」をつけて呼んでいる	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%

IV 保育者としての資質や能力・良識・適性

1よくできている 2まあまあできている 3あまりできていない 4まったくできていない

内 容		評 価							
		1		2		3		4	
1. 専門家としての能力・良識・義務									
【専門家としての能力】									
①	教育・保育に携わるものとして、専門知識や技能を身につけている	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%
②	保護者に対し、子どものことや自分の教育・保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%
③	保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている	2	17%	9	75%	1	8%	0	0%
④	保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
【良識とマナー】									
①	子どもや保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
②	朝と帰りの挨拶は明るく親しみを込めて行っている	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
③	園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
④	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心掛け、安全性にも気を付けている	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
【義務】									
①	教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	5	42%	7	58%	0	0%	0	0%
②	締め切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	2	17%	10	83%	0	0%	0	0%
2. 組織の一員としての在り方									
①	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
②	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは、クラスリーダーや園長、副園長、主幹保育教諭、リーダーに報告、連絡、相談している	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
③	当番や役割による仕事を理解し確実に行っている	9	75%	2	17%	1	8%	0	0%
④	上司の指示、命令には責任を持って実行している	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
3. まわりを感じ取れる感性・アンテナ									
①	幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている	6	50%	4	33%	2	17%	0	0%
②	社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%

V 保護者への対応・守秘義務

1よくできている 2まあまあできている 3あまりできていない 4まったくできていない

内 容		評 価							
		1		2		3		4	
1. 情報の発信と受信		1		2		3		4	
①	一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している	4	33%	8	67%	0	0%	0	0%
②	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳などを使って伝え合っている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
③	一日保育教諭(保育士)体験や保護者面談を行い、子どもについて、教育・保育や家庭での在り方について共通理解を得るように努めている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
④	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録している	7	58%	4	33%	1	8%	0	0%
⑤	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
2. 協力と支援		1		2		3		4	
①	保護者からの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、園長等に報告や相談をしている	9	75%	2	17%	1	8%	0	0%
②	必要な場合は、自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる	4	33%	6	50%	2	17%	0	0%
3. 守秘義務の遵守		1		2		3		4	
①	職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
②	秘密情報(保護者・園児等に関する個人情報、及び園の運営上の情報、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は、園長の許可を取っている)	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
③	秘密情報の記録が破損、改造されないように管理している	11	92%	0	0%	1	8%	0	0%
④	秘密情報について新たに知り得たことについては、直ちに園長等に報告している	11	92%	0	0%	1	8%	0	0%
4. 対応上のマナー・良識		1		2		3		4	
①	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話し掛け、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
②	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
③	電話では、簡潔に要領よく対話する事を心掛けている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
④	保護者からの依頼や伝言等については、メモをとるなどきちんと対応している	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
⑤	長期の欠席や入院等の場合には、連絡をしたり、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	8	67%	3	25%	1	8%	0	0%
⑥	保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別していない	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
5. クレームへの対処の仕方		1		2		3		4	
①	保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長等に連絡、報告、相談している	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%

VI 地域の自然や社会とのかかわり

1よくできている 2まあまあできている 3あまりできていない 4まったくできていない

内 容		評 価							
		1		2		3		4	
1. 地域の自然・人々とのかかわり		1		2		3		4	
①	地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
②	地域の自然や機関を指導（保育）計画の中で位置づけて活用している	6	50%	5	42%	1	8%	0	0%
③	子どもの医療や保健に関する問題及び地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談及び連絡先を把握している	6	50%	3	25%	3	25%	0	0%
④	実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	7	58%	3	25%	2	17%	0	0%
⑤	中高生の職場体験、ボランティアを受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	9	75%	2	17%	1	8%	0	0%
2. 小学校との連携		1		2		3		4	
①	保幼小連携の意義や在り方について興味・関心を持っている	9	75%	2	17%	1	8%	0	0%
②	園の教育・保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成に繋がることを理解している	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
③	小学校の教育内容について理解するよう努めている	6	50%	5	42%	1	8%	0	0%
④	小学生が遊びに来ることのできる場（行事等を含む）を設けている	8	67%	2	17%	2	17%	0	0%
⑤	卒業した子どもの情報を得るよう努めている	4	33%	7	58%	1	8%	0	0%
⑥	小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている	4	33%	6	50%	2	17%	0	0%
3. 地域の特性を生かした教育・保育の展開		1		2		3		4	
①	散歩・畑で収穫した野菜で料理など、地域の自然を生かした教育・保育を実践している	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
②	近くの農道や遊歩道を通して、神社や公園へ散歩するなど、地域の自然環境を生かした教育・保育を実践している	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%

VII 保育者の専門性に関する

1よくできている 2まあまあできている 3あまりできていない 4まったくできていない

内 容		評 価							
		1		2		3		4	
1. 研修・研究への意欲・態度		1		2		3		4	
①	研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている	7	58%	3	25%	2	17%	0	0%
②	自分の教育・保育については自己課題を持って計画と反省を行うとともに、教育・保育の在り方や悩みについて他の保育者や主幹、副園長、園長と話し合っている	8	67%	2	17%	2	17%	0	0%
2. 遊具・教材に関する専門性の向上		1		2		3		4	
①	園の玩具や教材・園庭遊具についてその特徴や基本的な使い方を知っている	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
②	園の玩具屋教材・園庭遊具についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
3. 園内の環境に関する専門性の向上		1		2		3		4	
①	園舎の構造（平屋）や保育室の位置・大きさがどのような教育的な意味を持つか理解している	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%
②	園庭や田畑、砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味を持つか理解し、教育・保育に生かしている	7	58%	2	17%	3	25%	0	0%
4. 今日的課題に関する専門性の向上		1		2		3		4	
①	子どもを取り巻く様々な状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心を持っている	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
②	アレルギー・自立の遅れなど、最近多くみられる問題について興味・関心を持っている	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
③	保幼小連携の意義や在り方について興味・関心を持っている	8	67%	3	25%	1	8%	0	0%
④	子ども達の安心・安全に関する危機管理について興味・関心を持っている	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
5. 自らを高めるための学習		1		2		3		4	
①	教育・保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある	6	50%	4	33%	2	17%	0	0%